

第 4 回コンクリート生産性向上検討協議会
議事要旨

1. 開催日時：平成 29 年 3 月 17 日（金）15:00～17:00

2. 場所：中央合同庁舎 3 号館 11 階特別会議室

3. 議事

- ① コンクリート工の生産性向上に向けた検討事項について
- ② 前回までの主な議論について
- ③ スランプ規定の見直しについて
- ④ 建設生産プロセスで最適化を図る技術・工法の導入について
- ⑤ 建設現場におけるサプライチェーンマネジメントの導入について
- ⑥ 土木学会からの提案に対する対応について
- ⑦ 今後の予定について

主な議論の概要は以下の通り

- スランプの設定について、完全に施工者の裁量に任せることが目的なのか、これまで 8cm であった規定を 12cm に変えることが目的なのか、今回の案では曖昧。発注者として、どの様な考えに基づき改定するのか、良く整理していただきたい。
- 全体最適の検討にあたっては、各事業の建設生産プロセスの流れを踏まえて検討すべき事項と、全国の事業を見据え検討すべき事項、例えば標準化といった事項があるので議論を整理すべき。また前者に関しては、誰がどうやって実施するのが適切であるか、対象とする事業も踏まえつつ整理する必要がある。
- 工期短縮の効果について、今回はすぐに費用として計上できるものあげているが、それ以外にもメリットがある。これらの効果の評価手法を確立するとともに、プレキャストについては実態を踏まえた積算方法の確立を目指していただきたい。検討にあたっては、各協会においても、どの様な方法で評価するのが良いか、具体的に提案していただきたい。
- サプライチェーンについて、生コンクリート工場では貯蔵施設の状況を踏まえた検討を進めてはどうか。また、プレキャスト工場については、輸送費がネックになっていることもあり、物流に焦点をあてた検討を進めてはどうか。
- 生コンクリート工場から発行される紙伝票により品質を保証している面があるため、電子化しても直ちになくなるということはない。当面は、併用という形で進めることになると思うが、試行により効果を検証していくことは重要。

以上